

## 第3章 第一次環境基本計画の実績

### 第3章 第一次環境基本計画の実績

#### 第一次環境基本計画の概要

##### (1) 望ましい環境像、環境目標と環境施策

明和町環境基本計画（以下、第一次計画）は、平成16年3月に制定され、平成16年度から平成25年度の10年間を計画の期間として取り組んできました。

第一次計画では、明和町の望ましい環境像と環境目標を以下のように設定し、それぞれの目標ごとに施策の展開を図ってきました。

##### a) 望ましい環境像

- ・快適な生活環境のまち
- ・自然環境を大切にするまち
- ・人と地球にやさしいまち
- ・資源・エネルギーを大切にするまち
- ・みんなで環境を良くするまち

##### b) 環境目標と基本施策

望ましい環境像：快適な生活環境のまち

区分	テーマ（環境目標）	基本施策
大気・悪臭	澄んだ青空、 おいしい空気を保つまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気測定の実施</li> <li>・自動車排ガス低減対策</li> <li>・ノーマイカー運動の推進</li> <li>・公害防止協定の締結</li> <li>・事業者への啓発・指導の強化</li> <li>・悪臭対策の推進</li> </ul>
水質	四季を通じ、水路に清らかな水が流れるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質調査の実施</li> <li>・公害防止協定の締結</li> <li>・水質汚濁の防止</li> <li>・汚水処理施設の整備推進</li> <li>・灌漑水路の冬期水量の確保</li> <li>・苦情への対応強化</li> </ul>
騒音・振動	小鳥の声、虫の音に心を いやされるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音調査の実施</li> <li>・公害防止協定の締結</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者への啓発・指導の強化</li> <li>・道路周辺環境の整備</li> <li>・発生騒音の低減対策</li> <li>・苦情への対応強化</li> </ul>
地盤沈下	地下水を大切にすま	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水利用と地盤沈下の実態把握</li> <li>・地下水利用の削減</li> <li>・地下水の涵養</li> <li>・雨水の活用</li> <li>・節水</li> </ul>

望ましい環境像：自然環境を大切にすま

区分	テーマ（環境目標）	基本施策
水辺環境	子どもたちが安心して水辺に親しめるま	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親水公園、水辺の散歩道などの整備</li> <li>・生き物が住みやすい水辺環境整備</li> <li>・河川・水路の清掃の推進</li> <li>・親水イベントの開催</li> </ul>
みどり	美しい花と果実豊かな、みどりあふれるま	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑化条例の制定</li> <li>・緑の基本計画の策定</li> <li>・公園、緑地、緑道などの整備・改善</li> <li>・街路樹の整備</li> <li>・身近な緑の保全・再生・創出</li> <li>・町の施設、公用用地の緑化</li> <li>・個人住宅・事業所などの緑化の奨励</li> <li>・緑化、植林イベント推進</li> <li>・町の花、果物の展示即売会の開催</li> <li>・みどりの大切さの啓発</li> </ul>

望ましい環境像：人と地球にやさしいまち

区分	テーマ（環境目標）	基本施策
自然との共生	人と生き物とみどりが共生するまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球に優しい公共工事の推進</li> <li>・環境に優しい農業の支援</li> <li>・ビオトープの創出</li> <li>・残すべき自然の選定と保全</li> <li>・二酸化炭素の排出量削減</li> </ul>

望ましい環境像：資源・エネルギーを大切にするまち

区分	テーマ（環境目標）	基本施策
資源・廃棄物	みんなで資源を有効に利用し、ごみを減らすまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理基本計画の策定</li> <li>・リサイクルシステムの確立</li> <li>・ごみ分別の徹底</li> <li>・ごみ減量化の促進</li> <li>・ごみ処理施設整備の推進</li> <li>・グリーン購入の促進</li> <li>・資源の有効利用</li> <li>・廃棄物の再生利用促進</li> <li>・ポイ捨て・ふん害防止条例の制定</li> <li>・ごみ不法投棄対策の強化</li> </ul>
エネルギー	みんなでエネルギーを有効に利用するまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギーの推進</li> <li>・自然エネルギーの活用推進</li> </ul>

望ましい環境像：みんなで環境を良くするまち

区分	テーマ（環境目標）	基本施策
環境負荷低減への参加	みんなが環境保全に参加するまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアとの協働</li> <li>・環境マネジメントシステムの構築</li> <li>・行政活動の環境負荷の低減</li> <li>・環境マネジメントシステム構築の支援</li> </ul>

共通テーマ 全ての「望ましい環境像」の実現のために

区分	テーマ（環境目標）	基本施策
教育・啓発	教育・啓発は全ての環境目標を実現するためのテーマであるため、特に望ましい環境像は設定せずに、独立のテーマとして掲げました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育・学習の推進</li> <li>・教職員の啓発</li> <li>・町民へのルール、マナーについての啓発強化</li> <li>・啓発イベント・事業の推進</li> <li>・こどもエコクラブの支援</li> </ul>

(2) 取り組みの内容

第一次計画において設定した基本施策ごとに、取り組みの実績及び概要をまとめました。

区分：大気・悪臭

テーマ（環境目標）：澄んだ青空、おいしい空気を保つまち

基本施策	取り組みの実績及び概要
大気測定の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県が大気環境を常時監視しています。</li> <li>・ダイオキシン類の測定を年2回実施しています。</li> <li>・空間放射線量を公共施設5ヶ所で定期的に計測しています。</li> <li>・平成23年11月から町民に空間放射線量測定器の無料貸し出しを行っています。</li> </ul>
自動車排ガス低減対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年度に低公害車購入費補助金要綱を制定し、排ガスの低減に努めています。平成17年度から平成24年度までの申請台数は、137台です。</li> <li>・群馬県が行うエコドライブ推進事業の周知に協力しています。</li> </ul>
ノーマイカー運動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進の観点からも車の利用を控え、ウォーキングを推進しています。</li> <li>・歩行者の安全のため、歩道を整備しています。</li> </ul>
公害防止協定の締結	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町に進出する事業者と公害防止協定を結び、生</li> </ul>

	活環境の保全に努めています。
事業者への啓発・指導の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民、事業者、農家などに対し、廃棄物焼却や家畜に起因する臭いなど抑制のため、啓発・指導を行っています。</li> <li>・苦情に対し適宜対応を行っています。</li> </ul>
悪臭対策の推進	

区分：水質

テーマ（環境目標）：四季を通じ、水路に清らかな水が流れるまち

基本施策	取り組みの実績及び概要
水質調査の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・谷田川の3ヶ所と町内水路の6カ所、計9カ所で年2回、定期的に調査を実施しています。</li> </ul>
公害防止協定の締結	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町に進出する事業者と公害防止協定を結び、生活環境の保全に努めています。</li> </ul>
水質汚濁の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県との連携強化を図り、緊急時において迅速な対応を行っています。</li> <li>・町民に対し、家庭排水による水質汚濁を防止するための啓発を行っています。</li> </ul>
汚水処理施設の整備推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年度から公共下水道の供用を開始し、施設への接続を積極的に推進しています。平成24年度末で整備率（認可区域内）は、66.6%です。</li> <li>・平成元年度に浄化槽設置整備事業費補助金要綱を制定し、合併浄化槽の普及促進を行っています。平成元年度から平成24年度までの設置基数は629基です。</li> </ul>
灌漑水路の冬期水量の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要水路に一定の水量を確保し、水質の改善を図っています。</li> </ul>
苦情への対応強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情に迅速な対応を行い、原因者に対して指導を行っています。</li> </ul>

区分：騒音・振動

テーマ（環境目標）：小鳥の声、虫の音に心をいやされるまち

基本施策	取り組みの実績及び概要
騒音調査の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内3ヶ所で定期的に調査を実施しています。</li> </ul>
公害防止協定の締結	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町に進出する事業者と公害防止協定を結び、生活環境の保全に努めています。</li> </ul>
事業者への啓発・指導の	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者に対し、工場騒音などの抑制のため、啓発・</li> </ul>

強化	指導を行っています。
道路周辺環境の整備 発生騒音の低減対策	・国道、県道で低騒音効果がある排水性舗装を採用していますが、町道については、コストや交通量を考慮し、導入を検討しています。
苦情への対応強化	・苦情に迅速な対応を行い、原因者に対して指導を行っています。

区分：地盤沈下

テーマ（環境目標）：地下水を大切にすまち

基本施策	取り組みの実績及び概要
地下水利用と地盤沈下の実態把握	・地盤変動量の推移を町内5ヶ所で観測を行っています。
地下水利用の削減	・地下水利用の増加を防止するため、県から表流水の受水を行っています。
地下水の涵養	・歩道部分の舗装に透水性舗装を採用し、雨水の地中への浸透を図っています。 ・平成8年度に雨水浸透枡設置費補助金要綱を制定し、地下水の涵養とともに地盤沈下の対策を行っています。 平成8年度から平成24年度までの設置基数は、320基です。
雨水の活用	・役場庁舎において、トイレや植栽への散水に雨水を利用しています。
節水	・節水の呼びかけを広報やホームページで適宜掲載しています。

区分：水辺環境

テーマ（環境目標）：子どもたちが安心して水辺に親しめるまち

基本施策	取り組みの実績及び概要
親水公園、水辺の散歩道などの整備	・ふるさとの広場における水辺環境等の整備を継続して行っています。
生き物が住みやすい水辺環境整備	・素掘り水路について、順次整備を行っています。 ・農薬、除草剤などの使用抑制について啓発、指導を行っています。
河川・水路の清掃の推進	・集落単位で農業者と地域住民が一体となり、農業

	用水路等を清掃し、保全活動に努めています。
親水イベントの開催	・今後、ビオトープ創出などの体験型イベントを実施出来るよう検討しています。

区分：みどり

テーマ（環境目標）：美しい花と果実豊かな、みどりあふれるまち

基本施策	取り組みの実績及び概要
緑化条例の制定	・景観計画と併せて検討中です。
緑の基本計画の策定	
公園、緑地、緑道などの整備・改善	・平成20年度 にっさと公園（新里地内）、平成21年度 桜中央公園（田島地内）、平成22年度 スズカケ公園（上江黒地内）が完成しました。
街路樹の整備	・桜並木など緑あふれる道路の整備を推進してきました。
身近な緑の保全・再生・創出	・農用地利用集積制度により、耕作放棄地や遊休農地を解消し、農地活用に努めています。
町の施設、公用用地の緑化	・平成20年度から役場庁舎にグリーンカーテンを設置しています。
個人住宅・事業所などの緑化の奨励	・温暖化対策の一環でもあるグリーンカーテンの設置の呼びかけを広報やホームページで適宜掲載しています。 ・平成21年度に明和町企業誘致促進条例を制定したのち、平成23年度に緑地設置奨励金を決めました。
緑化、植林イベント推進	・花いっぱい運動推進事業を実施しました。平成16年度から平成24年度までに約37万株植えました。
町の花、果物の展示即売会の開催	・（おもて梨運動の実施）町特産物の啓発活動を近隣店舗で実施したほか、さわやか物産展等各種イベントに参加しました。 ・（明和町農産物直売所）明和町農家生活改善グループ協議会が季節の野菜を販売し、地元に着した交流をとおして豊かな地域づくりを目指しています。
みどりの大切さの啓発	・広報やホームページで自然のみどりの大切さを定期的に掲載しています。



区分：自然との共生

テーマ（環境目標）：人と生き物とみどりが共生するまち

基本施策	取り組みの実績及び概要
地球に優しい公共工事の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事等から発生する廃棄物について適正な処理を行うよう事業者に対し、指導しています。</li> </ul>
環境に優しい農業の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸農家等から排出される農業用廃プラスチック等の適正な処理を推進しました。</li> <li>・梨、桃組合において、交信かく乱剤による減農薬栽培に取り組み、環境保全型農業の推進に努めました。</li> </ul>
ビオトープの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者が作成したビオトープを定期的に訪問し、観察を続けています。</li> </ul>
残すべき自然の選定と保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の少年団育成事業で、生徒が町内の花壇に花を植える活動などを行っています。</li> </ul>
二酸化炭素の排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設において、地球温暖化防止実行計画を策定し、実践しています。第一次計画は平成20年3月、第二次計画は平成25年4月に策定されました。平成29年度までにCO<sub>2</sub>を3%削減する目標を掲げました。</li> <li>・平成17年度に低公害車購入費補助金要綱を制定し、二酸化炭素削減を推進しています。平成17年度から平成24年度までの申請台数は、137台です。（再掲：自動車排ガス低減対策37ページ）</li> <li>・平成18年度からマイバッグキャンペーンを実施し、平成24年度までに二酸化炭素47,256kg-CO<sub>2</sub>、買い物袋約10トン削減しました。</li> </ul>

区分：資源・廃棄物

テーマ（環境目標）：みんなで資源を有効に利用し、ごみを減らすまち

基本施策	取り組みの実績及び概要
ごみ処理基本計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度に一般廃棄物処理基本計画を策定し、循環型社会を目指し、ごみの減量化や資源の再利用に努めています。</li> </ul>
リサイクルシステムの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行政区の拠点回収（19カ所）に加え、平成1</li> </ul>

<p>確立</p>	<p>8年度にもったいない館（新里地内）、平成21年度にはもったいない東館（千津井地内）を設置し、資源ごみなど排出の利便性を向上させました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型生ごみ処理機による堆肥化、腐葉土の作成、樹木破砕機貸出事業など有機性資源の有効利用システムを構築しました。</li> <li>・フリーマーケットの開催やリサイクルショップとの連携強化などでリサイクルシステムの確立に努めています。</li> <li>・平成16年度に資源再利用（回収）及び減量化運動助成金要綱を制定し、ごみ資源再利用運動の促進とごみの減量化、リサイクル意識の向上を図っています。平成16年度から平成24年度までの申請件数は、延べ204件です。</li> </ul>
<p>ごみ分別の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別収集品目の拡大（37品目）や、もったいない館の開館日を充実させ、利便性の向上を図り、ごみ分別の徹底を推進しました。もったいない館は年々利用者が増加し、平成24年度の利用者数は、約7万人です。</li> </ul>
<p>ごみ減量化の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年度にごみ減量化器具購入費助成金要綱を制定し、家庭での生ごみの自家処理を推進しています。平成16年度から平成24年度までの申請基数は68基です。</li> <li>・平成18年度からマイバッグキャンペーンを実施し、平成24年度までに二酸化炭素47,256kg-CO<sub>2</sub>、約10トンのごみを削減しました。（再掲：二酸化炭素の排出量削減41ページ）</li> </ul>
<p>ごみ処理施設整備の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1市2町（館林・板倉・明和）による広域ごみ処理施設整備共同事業計画（ごみ処理施設を各市町ごとに1施設ずつ整備するもの）を策定しました。）</li> </ul> <p>館林市：熱回収施設（焼却処理）  板倉町：リサイクルセンター（破砕処理）  明和町：最終処分場（埋立処理）</p>
<p>グリーン購入の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステムにおいて、環境物品の</li> </ul>

	購入を促進し、購入記録簿を作成し、管理しています。
資源の有効利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏面活用により紙の使用量を削減しています。(環境マネジメントシステム)</li> <li>・リサイクルショップの利用を推進しています。</li> </ul>
廃棄物の再生利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設副産物のアスファルト再生利用や下水道汚泥の堆肥化を実施しています。</li> </ul>
ポイ捨て・ふん害防止条例の制定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年10月に明和町ポイ捨て及び犬のふん害の防止に関する条例が施行され、清潔で美しい町を目指しています。</li> </ul>
ごみ不法投棄対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監視パトロールの継続的な実施や不法投棄防止・警告の看板を設置し、対策を強化しています。</li> </ul>

区分：エネルギー

テーマ（環境目標）：みんなでエネルギーを有効に利用するまち

基本施策	取り組みの実績及び概要
省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県と連携を図り、「ぐんまちゃんのじょうずな節電・省エネアクション」の周知を図っています。</li> <li>・エコドライブ・エコ整備を推進しています。</li> </ul>
自然エネルギーの活用推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年度に住宅用太陽光発電システム設置整備事業費補助金要綱、平成18年度に住宅用太陽熱高度利用システム設置費補助金要綱を制定し、太陽エネルギーの活用推進に努めています。太陽光の補助金については、平成16年度から平成24年度までの申請件数は259件、設置出力953kwで、太陽熱の補助金については、平成18年度から平成24年度までで9件です。</li> </ul>

区分：環境負荷低減への参加

テーマ（環境目標）：みんなが環境保全に参加するまち

基本施策	取り組みの実績及び概要
ボランティアとの協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体と連携・協働を図り、環境保全に努めています。</li> </ul>
環境マネジメントシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成16年度ISO14001を認証取得し、平成22年度から自主的に運用し、環境負荷の低減に努め</li> </ul>

	ています。
行政活動の環境負荷の低減	・環境マネジメントシステムの活用や地球温暖化防止実行計画の実践で、環境負荷の低減に努めています。
環境マネジメントシステム構築の支援	・ISO 認証取得支援事業で企業に奨励金を交付してきました。

共通テーマ：教育・啓発

基本施策	取り組みの実績及び概要
環境教育・学習の推進	・学校と連携し、児童、生徒にもったいない館など体験の場を提供しています。
教職員の啓発	・教職員を対象とした教育・研修に環境を取り入れています。
町民へのルール、マナーについての啓発強化	・ごみの出し方、野焼きの禁止、犬のフンの後始末などのルールやマナーについて、広報やホームページで定期的に掲載し、住みよい町づくりを目指しています。
啓発イベント・事業の推進	・環境フェア、環境講座など町民参加型のイベントや事業を検討し、開催していきます。
こどもエコクラブの支援	・こどもエコクラブの活動を普及させ、子供たちの自然を大切にする気持ちを育てています。